



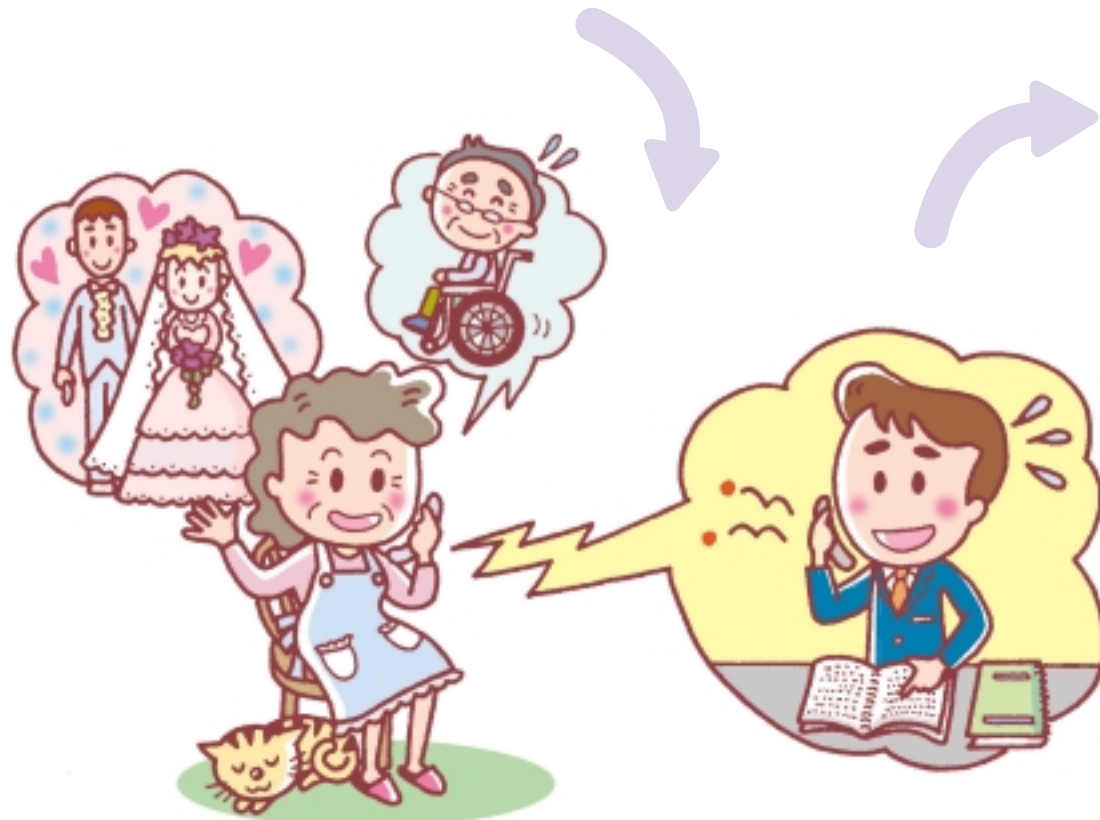
ホームヘルパーのサービスを受け始めたおじいさん、窓の外から聞こえてくるボランティア団体の人が“チョコチョコ”とはさみを使っている音に、ひと安心。



近隣の市町村のサービスを受けることもできます。

居住する市町村内に条件を満たす担い手がない場合、ボランティアセンターを通じて、近隣の同じ生活圏域の中にある担い手を探すことができ、条件が合えば、サービスを受けることができます。

まず、ボランティアコーディネーターは、ボランティアセンターに登録している個人・団体の中から、宿泊付きの外出援助サービスに対応できるところを探してみましたが、見つかりませんでした。そこで、隣町のボランティアセンターに連絡してみたところ、宿泊にも対応してくれる担い手を発見！



遠くに住んでいる孫娘が結婚することに。おばあさんは、ぜひ、おじいさんと一緒に行きたいと思い、剪定をしてくれているボランティア団体に1泊2日の外出援助を頼んだところ、その団体では宿泊を伴うサービスは行っていないとのこと。そこで、ボランティアコーディネーターに電話で「誰かにお願いできないかしら」と相談しました。



サービス開始後のフォローも万全です。

サービスを依頼した当初と状況が変わったり、万一、担い手やサービス内容に満足できない場合には、ボランティアセンターに相談し、担い手の変更や追加ができます。また、突発的に起こった困りごとにもネットワークを活かして対応できます。

無事に結婚式に出席し、孫娘の晴れ姿を見ることができたおじいさんとおばあさん。2人の暮らしは、日常生活に必要な、ちょっとしたサービスから、突然の依頼まで応えてくれる、プラットフォームという土台によって支えられているのです。